

第43回 箕面市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 日時

令和3年7月29日（木） 午後2時00分～午後3時20分

2. 場所

箕面市役所 3階 委員会室

3. 出席者

(会長)

- ・箕面市副市長 柿谷武志

(副会長)

- ・箕面市地域創造部地域創造推進監 岡本秀
- ・大阪大学大学院工学研究科教授 土井健司

(監事)

- ・公共交通に見識のある行政経験者 清田栄紀
- ・箕面商工会議所副会頭 松出末生

(委員)

- ・富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科准教授 猪井博登
- ・阪急電鉄株式会社交通プロジェクト推進部長 奥野雅弘
- ・北大阪急行電鉄株式会社常務取締役延伸事業部長 岩元仁
- ・阪急バス株式会社自動車事業本部営業企画部部長 野津俊明
- ・一般社団法人大阪タクシー協会専務理事 井田信雄
- ・阪急バス労働組合副執行委員長 日田守
- ・大阪モノレール株式会社総務部長 白根忠
- ・みのおの交通を考える会の代表 永田よう子
- ・箕面市身体障害者福祉会会長 羽藤隆
- ・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 寺本正満
- ・東急不動産 SC マネジメント株式会社みのおキューズモール総支配人 志村敦史
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（総務企画） 中西克之
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（輸送） 河原正明
（代理出席）運輸企画専門官 齋藤暁
- ・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第二課長 森俊彦
- ・大阪府池田土木事務所維持保全課長 今井浩文
（代理出席）地域支援・企画課企画グループ長 遠藤淳
- ・大阪府箕面警察署交通課長 大西将仁
（代理出席）交通総務係長 藤本登紀子
- ・国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課長 片田一真（オブザーバー）
（代理出席）専門官 中井睦

- ・箕面市教育委員会子ども未来創造局長 岡裕美
（代理出席）学校生活支援室長 宇根彩美
- ・箕面市みどりまちづくり部長 藤田豊
（代理出席）みどりまちづくり部副部長 松政秀史

(欠席)

- ・大阪府都市整備部交通戦略室交通計画課長 岡部哲久
 - ・国土交通省近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 本田泰彦（オブザーバー）
 - ・箕面市市政統括監 小林誠一
 - ・箕面市健康福祉部長 北村清
- 以上、委員26名のうち23名出席、オブザーバー1名出席

4. 議 題

- (1) 規約の改正について
- (2) 運行状況について
- (3) 令和2年度事業報告及び収支決算について
- (4) 令和3年度予算の補正（案）について
- (5) オレンジゆずるバスの車両更新について
- (6) 地域公共交通計画策定に向けた市民説明会及びパブリックコメントの実施結果について（速報）
- (7) その他

5. 議事要旨

- (1) 規約の改正について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑なし。】

- (2) 運行状況について

【意見・質疑なし。】

- (3) 令和2年度事業報告及び収支決算について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑なし。】

- (4) 令和3年度予算の補正（案）について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑なし。】

(5) オレンジゆずるバスの車両更新について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

- EVバスの導入は、カーボンニュートラルの促進という観点から、進めていくべき案件と考えるが、オレンジゆずるバスのように常時運行させるというような事例はそれほど無い。常時運行を可能とするためには、例えば、非接触給電装置の必要性など、技術的な見極めが必要になる。そのようなインフラ整備の費用等も含めた財政負担についても、念頭に置いて検討いただきたい。
- 将来的にはEVバスを導入する方向性になると考えている中、今回、日野ポンチョのEVバスが令和4年度に導入されるということが発表された。オレンジゆずるバスについては、循環運行により1日走行し続け、途中ですべての乗客が降りる訳ではないことから、1日継続して運行できるかという点が最大の課題となる。阪急バス株式会社においても、今秋から大阪大学のシャトルバスにEVバスの試験的導入を予定しているとのことだが、本市においてもその可能性を探っている状況。継続的に運行できる場合、補助金等の活用によるコスト縮減など見込めることから、継続運行の可否を見極め、EVバスを導入する場合には次回協議会において諮らせていただく。継続運行が物理的に難しい場合は、当初の予定通り、日野ポンチョを購入する。

(6) 地域公共交通計画策定に向けた市民説明会及びパブリックコメントの実施結果について（速報）

【意見・質疑応答は次のとおり。】

- 今回、市民説明会の日程が度々変更となった。もっと丁寧な案内が必要であったのではないか。また、パブリックコメントについて、今回の路線再編の他、交通全体のことを考えると、オレンジゆずるバスのことや費用のこともある。今この状況下で実施する必要があったのか。
→市民説明会については、当初5月を予定しており、もみじだより5月号にて案内を行った。緊急事態宣言に伴い、市民説明会およびパブリックコメントの延期が続いたが、もみじだより6月号、7月号と都度案内をし、その他、ホームページ等でも案内を行った。また、パブリックコメントの実施時期としては、今後、運行頻度、運賃形態、オレンジゆずるバスの再編と段階的に検討する必要があることや、できるだけ早い段階で市民に方向性を示す必要があることを考えると、ルート案に関するパブリックコメントを現段階で実施したことは適切であったと考える。
- 説明会については、実際に参加されたかたや意見も少なく、もっと丁寧な案内をするべきであったのではないか。パブリックコメントについては、運行頻度やダイヤ、運賃等についての意見が多く、現段階では答えられないとのことで、情報不足であったのではないか。
→説明会やパブリックコメントの広報については、広報紙、ホームページの他、自治会長宛の案内や市内約20か所のバス停にパブリックコメントを実施中である旨の案内掲示も行い、従来より丁寧な対応を行った。パブリックコメントについては、運行頻度やダイヤ等も含めて同時の検討となると、複合的になり、判断が難しくなる。そのため、ルートを確定させただけで、運行頻度等を検討していくという方向性としており、協議会でも議論してきた。

- 広報について、実際に知らないかたが多くいた。次回のパブリックコメント実施時においては、より丁寧に対応いただきたい。

- 今回のパブリックコメントの意見を確認し、路線バスに関する関心が高く、安全面や環境面にまで波及する非常に重みのある計画案であると感じている。その中で、間谷住宅からのアクセス性、如意谷線の社会実験、市道箕面今宮線の安全性や、白島線が箕面萱野駅止まりとなることなどへの意見がある。市がどのような回答をするかわからないが、意見通りとならない場合も、引き続き十分な説明を行い理解を求める必要があると考える。
 - パブリックコメントの意見について、箕面山麓線に関する件、如意谷線に関する件、鉄道との並行路線に関する件など、多くの意見をいただいた事は承知している。一方で、これまでの協議会での議論の通り、乗車いただかなければ路線の確保・維持は難しい。いただいた意見に対しては、委員と調整しながら検討を進めていきたい。また、意見通りとできない場合も、丁寧な説明が必要と考えている。
 - 目的地にダイレクトにアクセスできるというのが理想だが、利便性と採算性のバランスを考えなければ廃止にもつながることとなる。持続可能な路線となるよう、利便性と採算性のバランスを図りながら、いただいた意見の中で工夫してルートを決めていく必要があり、阪急バス株式会社を始め、本協議会で専門的な見地からも意見をいただき議論し決定していきたい。
 - 公共交通の持続性において、需要の減退の次に供給の減退があり、持続不可へとつながる。その供給の減退の進捗を広く周知するとの点で、今回のパブリックコメントについての意味がある。利便性の観点から反対意見が多く出たが、持続可能な公共交通のためには、「公共交通は乗り継いで利用するもの」ということを理解していただくためにも、今回のやり方は良かったと考えている。

- ノンステップバスの導入について、箕面市総合都市交通戦略の中で、導入率70%が令和2年の目標と聞いている。路線バスの再編にあわせて、ノンステップバスの普及を一層進めていただきたいとともに、現在の進捗を教えていただきたい。また、ノンステップバスでの運行かどうかについては、当日営業所に確認する必要があったが、現在も同様か。
 - ノンステップバスの導入率は大阪府、兵庫県、京都府の3府県全体で昨年末時点で62%となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により入れ換えが厳しくなっているが、入れ換えはノンステップバスという計画を持っている。また、ノンステップバスのダイヤ固定は難しいため、従来と同様に営業所へ確認をお願いしたい。

(7) その他

【意見・質疑は次のとおり。】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少した市内の中小企業者、小規模事業者への支援および市民への生活支援で、小さなお店応援チケットというプレミアム付き商品券を販売してきたが、交通事業者の支援を加えた形で第二弾の購入申込みを募集している。プレミアム付き商品券2,500円分に、阪急バスの一乗車券をセットしたものを1,000部、オレンジゆずるバスの一乗車券を2枚セットしたものを1,000部、市内で営業しているタクシー会社で利用可能な

タクシーチケット1,000円分をセットしたものを2,000部を、それぞれ2,000円で販売している。

- 清田委員から退任の申し入れがあり、受理した。

以上